

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 研修室
- ◆ 出席委員：新野・川口・佐藤・三宮・武本・前田委員 …6名
- ◆ オブザーバー：保安院／竹本所長 大嶋副所長 嶋崎検査官 エネ庁／七部所長
東電／西田技術担当 森 GM 宮武
- ◆ 事務局：市／野澤主査 広報センター／永井事務局長 石黒主事

次回以降定例会内容について

- ◆ 12月定例会（第二回公開勉強会）（12月2日）
 - 〈会長〉講師への事前質問がいくつか出されている。回答の時間が必要となると時間的に厳しいがどうするか。
 - 〈委員〉質問はこのまま講師へ提出し、対する回答には時間もあまりないので、この質問にも触れて講義してもらおうということではよいのではないか。
 - 〈委員〉それでよい。それでも質問があるときは質疑応答時間内でしてもらおうことでよい。
 - （委員 了解）
 - 〈東電〉前回定例会で、地震予知総合研究振興会についての質問が出たが回答はどのように行えばよいだろうか。
 - 〈委員〉文書で回答してもらえばいい。
 - 〈東電〉了解。
- 【決定事項】
 - ・勉強会当日は事前質問への回答時間は設けず、事前質問にも触れて講義してもらおうよう要請する。
- ◆ 1月定例会（1月13日）、2月定例会（情報共有会議）（2月3日）
 - 〈会長〉1、2月のテーマをどうするか。
 - 〈委員〉2月は情報共有会議になるので1月は委員同士の議論がよい。
 - 〈会長〉あるいは2月会議に向けた意識あわせのようなことも必要。そうすると2月のテーマが重要になってくる。どういうことをしたいのかによって1月も方向性は自ずと決まる。2月はどのようにするか。昨年は、発言の持ち時間を設けた上で、委員が先に思いを述べ、その後、各首長からご自身のお考えをご発言いただいた。
 - 〈委員〉昨年の進行はよかった。
 - 〈会長〉例えば運転再開についてなど、いくつかテーマを設け、それに沿って発言してもらうのはどうか。
 - 〈委員〉ほかのことで言いたい人もいると思うので、テーマは決めず、昨年同様、持ち時間を決めることでいいのではないかと。テーマは2つくらい例示してそれについてでもよい。
 - 〈委員〉地震から2年半経過した中で今後どうなるのか、あるいは政権交代してこの地域が今後どうなるのかということ、原子力を中心に話してもらってはどうか。
 - 〈会長〉まだ時間があるので12月くらいまで検討したい。ただ進行としては、昨年同様に、全委員から持ち時間内で発言をしてもらい、その後各首長から委員の意見を踏まえたことや、ご自身の思いを発言していただくという形をとらせていただきたい。方向性

は12月の運営委員会で協議したい。

(委員 了解)

〈会長〉懇親会はどうするか。

〈委員〉やることでよい。

〈委員〉場所は「おくい」または「盛来軒」でよい。

【決定事項】

- ・ 2月の情報共有会議の進行は、昨年同様、全委員が発言し、その後各首長から発言をいただく。1、2月のテーマは次回運営委員会で協議する。
- ・ 会終了後、懇親会を行う。場所は「おくい」または「盛来軒」(予定)、会費は4,500円程度。

視点38号

〈事務局〉みんなの広場について原稿がなかなか集まらない。運営委員以外の委員にも順番に窓口になっていただき、友人や知人に原稿執筆をお願いしたい。また、原稿が集まらないときは「委員紹介」のような欄を設けてはどうか。

〈委員〉今回のエネ庁主催の座談会のように、ほかにトピックスがあればそういうものを載せたり、新委員の紹介というスペースを設けたりしてもいいのではないか。

〈委員〉「みんなの広場」は親しみやすいページなので努力しても執筆者を探すほうがよい。

〈委員〉前委員さんに執筆依頼してはどうか。

〈事務局〉了解。また問題が生じたら運営委員会に諮らせていただきたい。

【決定事項】

- ・ 前委員に執筆依頼するなどして執筆者を募る。

その他

○ エネ庁主催の座談会について

〈エネ庁〉現在、参加申し込みいただいているのは13名。まだ連絡をいただいている委員には電話にて確認させていただく。また、概要を次回12月定例会の、前回以降の動きの中で簡単に報告させていただきたい。

(委員 了解)

○ 委員意見・質問について

【決定事項】

- ・ 東京電力に対する質問は、次回定例会の中で文書回答する。

次回運営委員会

12月16日(水) 18:30～